

久留米市文化財サポーターと歩く

筑後国府マップ

奈良・平安時代の筑後国の中心地「筑後国府」は、久留米市合川町と御井町の地下に眠っています。町を歩けば古代の息吹が聞こえてきそうです。



前身官衙跡



小学校内に見える段丘崖



阿弥陀堂 (おこぼさん)



現在の東限大溝 (水路)



筑後国府跡の看板



古代からある交差点



へボノ木遺跡出土香炉

前身官衙
7世紀中頃～後半

2期国庁
8世紀後半～
10世紀後半

3期国庁
10世紀後半～
11世紀後半

4期国庁
11世紀後半～12
世紀後半

1期国庁
7世紀後半
～末

古代官道跡

当時
全国最盛
の国府
です。

在国司居屋敷跡
国司さんの
方では
曲水の宴を
したのよ

国府には
鍛冶工房
もあったよ

味水神社へ
お参りに
いこう

ウシが働いていた
国府は
だかいんじや
みらのまのあひな
道君首名せし

八竜神社
の碑

国司の道

東限大溝の水源池

国司の道

千本杉断層

金剛道橋

味水御井神社

合川バス停

合川バス停

味水御井神社

JR久留米大学前駅

高良行宮

IV期国庁跡

南筑高校内の4期国庁

筑後国府跡へのアクセス
バス：西鉄久留米駅から●番バス、「十三部」下車、合川コミュニティセンターまで徒歩15分。「合川」下車、味水神社まで徒歩5分。
車：九州道久留米ICから朝妻交差点まで3分
マップ記載地区をすべて巡るには、3時間ほどかかります。

※マップ内の国庁や国司館は、地中に埋蔵されており、現在地上に復元されているわけではありません。また、1～4期までである国庁が同一紙面に描かれていますが、それぞれ実際に建っていた時期は異なります。



千本杉断層崖

お問い合わせ：久留米市市民文化財保護課 (0942-30-9225)